



|                           |   |  |   |
|---------------------------|---|--|---|
| <p>干 葉</p> <p>(生育/作柄)</p> | <p>(生育状況等)</p> <p>【主要品種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関東甲信地方は7月18日に平年より1日早く梅雨明けし、7月は平年より気温が非常に高く推移した。このため、出穂が早まり、4月20日結実「ふさおとめ」の出穂期は7月5日、「ふささがら」は7月7日、「コシヒカリ」は7月12日で、平年より6～7日程度早くまっている。さらに5月1日結実の「コシヒカリ」の出穂期は7月15日で、平年より9日程度早くまっている。</li> <li>葉色は平年並みからやや濃く、「コシヒカリ」は葉長が長い傾向にある。</li> <li>成熟期は4月20日結実の「ふさおとめ」が6月7日から、「ふささがら」は8月12日から、「コシヒカリ」は8月20日頃からと、収穫は非常に早い事が予測される。なお、気象庁の1か月予報では気温が高い見込みで、成熟期が早まる可能性がある。</li> </ul> <p>(千葉県農林水産部 7月26日付)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁)</p> <p>関東甲信地方は8月29日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>向こう1か月結実結核、セジロウカ、斑点米3%、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年「あきたこまち」が減少し、関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</li> <li>「コシヒカリ」が減少し、関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</li> <li>「あきたこまち」が減少し、関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</li> </ul> |
| <p>新 潟</p> <p>(生育/作柄)</p> | <p>(生育概況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要品種の出穂期(県平均)は、「こしいぶき」で平年に比べ2日早い7月24日、「コシヒカリ」で1日早い8月3日、「新之助」で2日早い8月9日だった。</li> </ul> <p>(新潟県農林水産部 8月21日付)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>向こう1か月結実結核、結実結核、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米3%、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年「あきたこまち」が減少し、北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</li> <li>「あきたこまち」が減少し、北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</li> <li>「あきたこまち」が減少し、北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</li> </ul>      |
| <p>富 山</p> <p>(生育/作柄)</p> | <p>(7月16日 生育観測は)</p> <p>「てんかたく」・5月2日移植の「てんかたく」の出穂期は、近年より1日遅い7月16日と見込まれる。今後、平年並の気温で推移した場合、成熟期は8月20日頃と見込まれる。「コシヒカリ」・幼穂形成期は、平年に比べ1日早い7月10日となった。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は平年に比べ1日遅い7月31日頃と見込まれる。「てんこもり」・幼穂形成期は、平年に比べ2日早い7月10日となった。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は平年に比べ2日早い8月1日頃と見込まれる。「富富富」・幼穂形成期は、近年並の7月15日となった。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は近年並の8月4日頃と見込まれる。</p> <p>(富山県農業技術センター 7月16日付)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>向こう1か月結実結核、結実結核、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米3%、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿で「てんかたく」及び「あきたこまち」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(仮名称)の導入拡大を推奨している。</li> <li>「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿で「てんかたく」及び「あきたこまち」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(仮名称)の導入拡大を推奨している。</li> </ul>  |
| <p>石 川</p> <p>(生育/作柄)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、早生は収穫期、中生は成熟中期～後期、晩生は成熟中期となっている。(石川県農林総合研究センター 8月23日付)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>向こう1か月結実結核、結実結核、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米3%、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成であるが、近年「あきたこまち」が増加傾向にある。</li> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成であるが、近年「あきたこまち」が増加傾向にある。</li> </ul>  |
| <p>福 井</p> <p>(生育/作柄)</p> | <p>【「コシヒカリ」・「いちほまれ」熟成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」・「いちほまれ」共に、平年よりやや低い積水分になっている。(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 8月30日付)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>向こう1か月結実結核、結実結核、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米3%、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成であるが、近年「あきたこまち」が増加傾向にある。</li> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成であるが、近年「あきたこまち」が増加傾向にある。</li> </ul>  |
| <p>長 野</p> <p>(生育/作柄)</p> | <p>【8月26日現在の現地(平地)の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早生品種(あきたこまち、美山錦等)・収穫直前～収穫開始</li> <li>「コシヒカリ」4月末～5月初旬頃、熟成後期～収穫直前、5月上旬頃、熟成後期、5月中旬頃、熟成中期～後期、5月下旬頃、熟成中期</li> <li>本年は出穂始めから穂揃いまでの日数が長く、株内でも熟成のばらつきが大きい模様。お盆前後のゲリラ豪雨で圃場の一部で倒伏が相次ぎました。</li> <li>お盆以降、穂もろ病が検見されるが、収量への影響は少ないと思われる。(松本県農業技術センター 8月25日付)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「きぬむすめ」の導入を推進している。</li> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「きぬむすめ」の導入を推進している。</li> </ul>  |
| <p>滋 賀</p> <p>(生育/作柄)</p> | <p>(農業技術振興センター 水稲作況調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出穂期は、「みずかがみ」が7月21日(平年より2日早い)、「コシヒカリ」が7月24日(平年より3日早い)、「きらみずき」が8月5日であった。</li> <li>成熟期は、「みずかがみ」が8月23日(平年より2日早い)、「コシヒカリ」は平年よりやや早い見込み。(滋賀県農業技術振興センター 8月23日付)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で多い見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。太平洋側で多い見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で多い見込み。(気象庁)</p> <p>近畿地方は9月5日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>向こう1か月セジロウカ、斑点米3%の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」・「キヌヒカリ」・「あきたこまち」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、米産量増加に向けた「みずかがみ」の作付けが推進されている。</li> <li>「コシヒカリ」・「キヌヒカリ」・「あきたこまち」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、米産量増加に向けた「みずかがみ」の作付けが推進されている。</li> </ul>  |
| <p>兵 庫</p> <p>(生育/作柄)</p> | <p>(8月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東南部の極早生品種の「キヌヒカリ」、「どんとこい」では、草丈がやや長く、茎数は少ない。高温の影響で生育が進み、出穂は3～5日程度早まる見込みである。一方、普通期の「ヒノヒカリ」、「きぬむすめ」では、草丈は平年に比べて長く、茎数は「ヒノヒカリ」、「きぬむすめ」ともに多い。主穂長さの進み方も0.5割ほど早い。</li> <li>北西部では、草丈はやや長く、茎数は少ない。出穂期は「コシヒカリ」で平年より3～7日程度早まっており、地域やほ場間での生育差が生じている。</li> </ul> <p>(兵庫県農林水産部 8月8日付)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。太平洋側で多い見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で多い見込み。(気象庁)</p> <p>近畿地方は9月5日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>向こう1か月セジロウカ、斑点米3%の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」・「ヒノヒカリ」・「あきたこまち」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の導入拡大を推進している。</li> <li>「コシヒカリ」・「ヒノヒカリ」・「あきたこまち」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の導入拡大を推進している。</li> </ul>  |
| <p>岡 山</p> <p>(生育/作柄)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>稲(晩生種)の生育は平年並である。(岡山県病害虫防除所 8月28日付)</li> <li>中生品種「きぬむすめ」は出穂が始まっている。(岡山県農林水産総合センター・岡山県農業技術担当会主催 8月21日付)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>中国地方は9月4日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」・「あきたこまち」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」の導入拡大を推進している。</li> <li>「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」・「あきたこまち」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」の導入拡大を推進している。</li> </ul>  |
| <p>広 島</p> <p>(作柄)</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</li> </ul>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>中国地方は9月4日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月7日付)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」・「あきたこまち」を中心とする品種構成である。</li> <li>「コシヒカリ」・「あきたこまち」を中心とする品種構成である。</li> </ul>  |

|       |  |  |  |
|-------|--|--|--|
|       | (生育状況等)  |  |  |
| 愛 媛   | <p>(8月10日現在)「ひめの源」(愛媛県農林水産研究所内水田ほ場)</p> <p>- 6月21日移植、移植後50日頃の茎数は28.4本/株で、昨年と同程度。<br/>(愛媛県農林水産研究所 8月14日付)</p> <p>(生育/作柄)</p> <p>- 8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】<br/>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】<br/>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多い見込み。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は9月4日頃からかなりの高温。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病、コブメイガ、ごま葉枯病、結葉枯病、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、斑点米ねん、紋枯病の発生が多いと予想される。<br/>(農林水産省 8月7日付)</p> | <p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの源」への品種変更が定まらせてきている。</p> |
| 高 知   | <p>(7月情報)</p> <p>【早期稲】<br/>- 収穫時期は平年並～やや早く、収穫は「南国そだち」は7月19日頃、「よさこい美人」は7月末から始まっており、「コシヒカリ」は8月初旬からの見込みである。<br/>- 斑点米カメムシ類による灌漑や高温不穏による減収が懸念される。</p> <p>(生育/作柄)</p> <p>【普通期稲】<br/>- 草丈、茎数とも平年並で、全体的に穂を順調に生育しているが、重いもちの発生が多く、ずり込み症状が見られるほ場もある。<br/>- 手た、斑点米カメムシ類やトビイロウンカなど、減収の大きな要因となる害虫が多く、注意が必要である。<br/>(高知県病害虫防除所 8月2日付)</p> <p>- 8月15日現在の普通栽培の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】<br/>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】<br/>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多い見込み。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は9月4日頃からかなりの高温。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病、コブメイガ、ごま葉枯病、結葉枯病、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、斑点米ねん、紋枯病の発生が多いと予想される。<br/>(農林水産省 8月7日付)</p> | <p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>  |
| 福 岡   | <p>(8月22日)</p> <p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】<br/>- 4月下旬頃の「夢つくし」、「コシヒカリ」の成熟期は平年に比べてやや早く、収穫作業は8月16日頃から本格化した。<br/>- 苗状態はほぼ認めず、収量は平年並と見込まれるもの、登熟率が高温で経過したため、白米熟粒の発生が多い見込み。<br/>また、イネカメムシによる吸汁害の発生も見られ、収量及び品質の低下が懸念される。</p> <p>【普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】<br/>- 出穂期は、6月10日頃「夢つくし」が8月8日頃、6月中旬頃「元気つくし」が8月16日頃で、平年並からやや早い見込み。<br/>トビイロウンカや重いもちの発生は平年より少ないものの、イネカメムシの発生が熊本地域で多く見られる。<br/>「夢つくし」の成熟期は、平年に比べやや早いと予想され、収穫は9月中旬が最盛期となる見込み。<br/>(福岡県農業総合試験場 8月25日付)</p> <p>- 8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】<br/>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】<br/>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多い見込み。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は9月4日頃からかなりの高温。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月オオコバエ、斑点米ねん等の発生が多いと予想される。<br/>(農林水産省 8月7日付)</p>  | <p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増勢となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</p>               |
| 熊 本   | <p>(作柄)</p> <p>- 8月15日現在の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】<br/>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】<br/>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多い見込み。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は9月4日頃からかなりの高温。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p>   | <p>・「ヒノヒカリ」「夢のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの夢」はリーディング品種として取組が今年も拡大している。</p>                  |
| 宮 崎   | <p>(9月上・中旬)【作物の生育状況】<br/>- 普通期水稲は幼穂伸長期～穂ばらみ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 8月28日付)</p> <p>(生育/作柄)</p> <p>- 8月15日現在の普通栽培の作柄概況は「やや不良」(農林水産省 8月30日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】<br/>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】<br/>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多い見込み。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は9月4日頃からかなりの高温。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p>   | <p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みさ388」への作柄指導が進められている。</p>                               |
| 鹿 児 島 | <p>(作柄)</p> <p>- 8月15日現在の普通栽培の作柄概況は「平年並」(農林水産省 8月30日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月31日～9月30日】<br/>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】<br/>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多い見込み。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は9月4日頃からかなりの高温。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p>   | <p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</p>               |

注1：熊及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を本報掲載情報で取り纏め。  
注2：生育状況等(普通栽培等全農資料の抜粋)については令和6年8月8日18時時点での取り纏め。  
注3：資料提供は平年並とした。

引用資料:

農作物の生育状況(9月1日現在)(北海道農政部 9月3日)、  
農作物生育状況(9月1日現在)(北海道空知総合振興局 9月3日)、  
農作物生育状況(9月1日現在)(北海道石狩総合振興局 9月3日)、  
農作物生育状況(9月1日現在)(北海道後志総合振興局 9月3日)、  
農作物の生育状況(9月1日現在)(北海道胆振総合振興局 9月3日)、  
農作物の生育状況(9月1日現在)(北海道渡島総合振興局 9月3日)、  
農作物生育・技術情報8号(日高農業改良普及センター日高西部支所、JAびらとり、JA門別町 9月3日)、  
農作物の生育状況(9月1日現在)(北海道釧路総合振興局 9月3日)、  
農作物の生育状況(9月1日現在)(北海道上川総合振興局 9月3日)、  
農作物生育状況調査の概要(9月1日現在)(北海道留萌総合振興局 9月3日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況(9月1日現在)(北海道オホーツク総合振興局 9月3日)、  
稲作生産情報第7号(青森県 8月30日)、  
令和6年度水稲生育定期調査結果No.6(出穂期等)(岩手県農業研究センター 8月30日)、  
農作物技術情報 第6号 水稲(岩手県 8月29日)、  
令和6年度産仙南稲作情報(第7号)(宮城県大河原農業改良普及センター 8月29日)、  
令和6年度稲作情報第7号(宮城県亶理農業改良普及センター 8月29日)、  
登米地域の稲作通信第8号(宮城県登米農業改良普及センター 8月30日)、  
粟原の稲作通信令和6年度第8号(宮城県栗原農業改良普及センター 8月23日)、  
令和6年度気仙沼・南三陸稲作情報第8号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 8月23日)、  
作況ニュース(第7号)(秋田県農林水産部 8月23日)、  
米づくり技術情報 No.20(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 8月27日)、  
おいしい米づくり情報第12号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 8月30日)、  
おきたま米づくり情報No.11(山形県置賜総合支庁置賜農業記述普及課・西置賜農業技術普及課 8月30日付)、  
主要な農作物の生育情報令和6年度第5号(令和6年8月6日現在)(福島県 8月6日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月23日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 8月2日)、  
水稲生育診断速報2024No.6(栃木県農政部経営技術課 8月16日)、  
水稲の生育状況と当面の対策第5報(千葉県農林水産部 7月26日)、  
水稲の生育状況と今後の管理対策(第8号)(新潟県農林水産部 8月21日)、  
TACS情報第8号(富山県 7月16日)、  
台風10号の接近に伴う被害防止対策について(石川県農林総合研究センター 8月23日)、  
稲作情報No.20(水稲レベルアップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井県農林中央会 8月30日)、  
令和6年度稲作技術普及情報第16号(松本農業農村支援センター 8月26日)、  
令和6年度稲作生育診断情報No.5(滋賀県農業技術振興センター 8月23日)、  
令和6年度兵庫県農業気象技術情報第4号(8月情報)(兵庫県 8月2日)、  
令和6年度病害虫発生予報第6号(岡山県 8月28日)、  
水稲(中・晩生品種)及び黒大豆の高湿・少雨に対する技術対策について(岡山県農林水産総合センター・岡山県農業気象技術担当者会議 8月21日)、  
2024年度‘ひめの雫’の生育状況(愛媛県農林水産研究所 8月14日)、  
令和6年度病害虫発生予報7月月報(高知県病害虫防除所 8月2日)、  
主な農産物の生産状況(令和6年8月22日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 8月26日)、  
令和6年度病害虫発生予報第5号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 8月28日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(8月29日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(8月29日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(8月29日气象台)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(8月29日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(8月29日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(8月29日広島地方气象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(8月29日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(8月29日福岡管区气象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(8月29日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(8月20日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(8月20日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(8月20日气象台)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(8月20日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(8月20日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(8月20日広島地方气象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(8月20日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(8月20日福岡管区气象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(8月20日鹿児島地方气象台)、

早期天候情報(8月29日14時30分)(气象台)、

エルニーニョ監視速報(No.383)(气象台 8月9日)、

令和6年度水稲の8月15日現在における作柄概況(農林水産省 8月30日)  
令和6年度病害虫発生予報第6号(農林水産省 8月7日)、  
令和6年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 8月12日)